

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 2 年 5 月 (着任 4 ヶ月)
主な活動	1. タツノオトシゴハウスの撮影手伝い 2. 穎娃町の日常の一コマをネットで発信

1. タツノオトシゴハウスの撮影手伝い

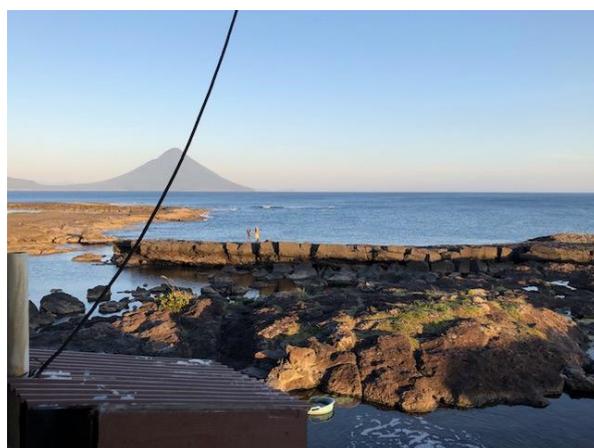
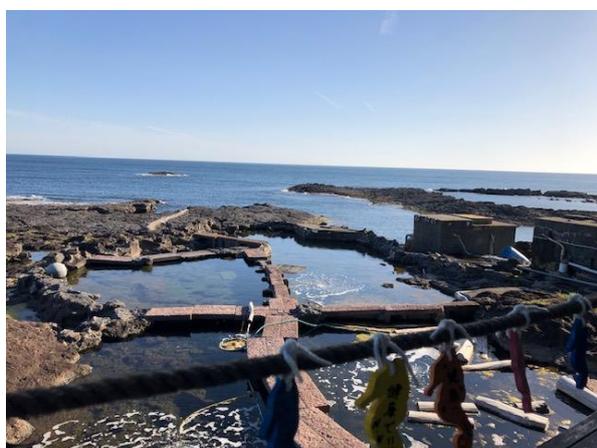
穎娃町の観光スポットの 1 つである「タツノオトシゴハウス」で、とある動画の撮影が行われました。詳細については、まだお伝えできませんが、これまでタツノオトシゴハウスに蓄積された情報をアップデートするような、非常に濃い内容の撮影となりました。

動画の主人公は経営者であり、タツノオトシゴハウスの養殖を行っている「加藤紳 (しん)」さん。撮影・編集は、わたしと共に穎娃町に移住した、SiiiScaleStudios の「鮫島歩 (あゆむ)」です。せっかくなので、わたしも撮影に参加することに。

(とはいっても一週間以上の撮影期間の中で、1~2 日ほどのことですが…)

撮影に参加する中で、お腹に赤ちゃんを抱えているタツノオトシゴを観察したり、1 階のタッチプールでの企画 (動画公開をお楽しみに!) などを通したりして、これまで以上に深く関わられたような気がしました。新型コロナウイルス感染症の影響で一時休業していたタツノオトシゴハウスですが、その間に店内のリニューアルが進み、以前にも増してパワーアップしています。

遊びに行ったことがある方も、落ち着いた頃に、ぜひ足を運んでみてください。



2. 穎娃町の日常の一コマをネットで発信

新型コロナウイルス感染症の影響から、自宅オフィスで作業することが多かった5月のある日。窓の外から軽快なメロディと一緒に、「移動販売～」のアナウンスが聴こえてきました。穎娃町に移住してからの買い物は、近くのAコープやタイヨー、ちょっと遠出をして川辺のA-Zに行くことがほとんど。移動販売で買い物をしたことはなかったため、興味本位がてら、見に行ってみました。自宅から5秒ほど歩くと、移動販売車が止まっている公民館に到着。すでに近所の人が10人以上集まっていて、ワイワイと明るい声が響いていました。

移動販売車の中を見ると、お菓子やカップ麺などの常温の商品だけでなく、冷蔵の牛乳や肉や魚。更にはお惣菜まで販売されていて、品揃えの豊富さに驚きました。

普段から利用されている方にとっては、当たり前の風景かもしれませんが、わたしにとっては新鮮で、おもしろい風景だったので自分のブログで紹介することにしました。

「移動販売～のメロディに誘われ、公民館の駐車場で買い物してみた。」というタイトルで、写真と共に、2,000字ほどで綴っています。

記事 URL : <https://kazagulum.com/living/idouhanbai/>

少しずつ日常が戻ってきたように感じられる、ここ数日。

今後も穎娃町の様々な風景について、発信していけたらと思います。

